髙橋副校長のカンボジア滞在記

（H30.7.28～8.5）

　生徒の研修旅行用の下見と、自分自身の見識を深めるため、１０日間カンボジアに行ってきました。その時の感想と様子をまとめてみました。

「カンボジアは暑い！」というイメージがものすごく強かったのですが、今は雨季でそれほどではなかったです。逆に日本の方が暑い、ではなく「熱い！」でした（笑）。

それでは、ちょっとだけお付き合い下さい。

○７月２８日（土）　これカンボジア・シェムリアップ国際空港です。「道の駅」じゃありませんよ。滑走路側から撮りました。もう夕方６時位です。

○７月２９日（日）シェムリアップ市内です。雨季なので良く降りますが、すぐ上がりました。道路は川みたいです。それにしても日本車が圧倒的に多いです。この国は、免許がいらないので大人から子供まで普通にバイク乗ってます。（ただし 125cc まで）

すごく大きなスーパーマーケットです。ちょっと驚いてしまいました。日本と同じ、なんでも揃ってます。バカにできませんよ。

これ全部カンボジアのスーパーですからね。

キッコーマン醤油売ってました。

カンボジア名物『トゥクトゥク』に乗って市内を巡ります。ちなみに写っているのはトイレットペーパーです。

市内にある寺院です。

通路壁に描かれている、ストーリー性を持った壁画。

日本と違って、表情がなんかマンガチックです。でもここはぐっと我慢で笑いません。。

寺院のすぐ横ではこんなマーッケットが開かれています。

シェムリアップで有名な『ナイトマーケット』です。もう一晩中賑やか街でした。でも今は雨季でベストシーズンではないため、観光客は少ないらしいです。

○７月３０日（月）日本の NPO 共生フォーラムとカンボジアが協力して建てた、『アンコール共生病院』を訪問してきました。日本語のできるお医者さん、スタッフの方が大勢いて、万が一何かあっても安心です。

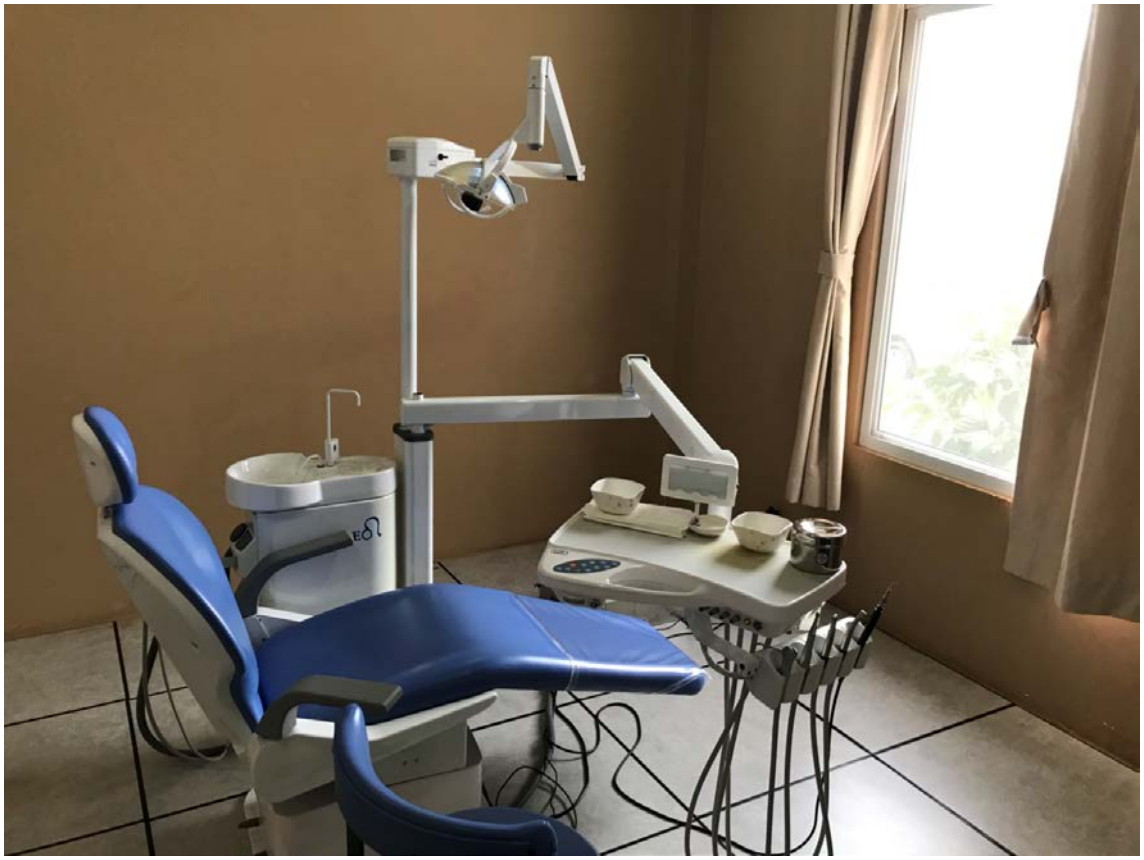
日本から贈った救急車です。

処置室・・だったかな。

レントゲン室です。

いま入院用ベットは２４床＋個室があるそうです。

歯科は日本人の先生です。外国で歯の痛みをうまく伝えられるから本当に助かりますね。



血液などの検査機器です。

先頭が院長先生です。この写真はちょっと借りちゃいました。ハハハ・・・(笑)

病院を出て、お昼を食べようと思ったら外は豪雨。あっという間に川になっちゃいました。
バイクに車がくっついている乗り物が名物『トゥクトゥク』です。

ゲーセンです。当たり前にありました。よ～く見たら日本のアニメのゲームが・・・・。

パブストリートで夕食は、カンボジア鍋です。旗を見て何の肉かわかりますか？でもとても美味しかったです。大人だからビールを飲みます、ハイ（笑)。

これでも人は全然少ないって言ってました。

○７月３１日（月）前日の雨の影響で道路はまだ水たまりがいっぱいです。

おーっと危ない！絶対落ちると思いましたが現地の人達が力を合わせてなんとか持ち直していました。ちなみに荷物はペットボトルの水です。水はどこでも売ってました。

市内を抜けると一気に田舎の感じがでてきます。トゥクトゥクからの眺めです。この日は『ベンメリア遺跡』という、天空の城ラピュタのモデルになったのでは？と言われている遺跡にむかいます。

This is Combodia って感じな風景でしょ？ な～んにもないです。

途中道端で、竹筒で炊いたご飯を売っていました。もち米と黒豆のようなものを一緒に炊いていて、ほんのり甘くて美味しかったです。

『ベンメリア遺跡』到着です。でもここまでトゥクトゥクで片道２時間３０分。距離にして６０km 以上でした。もうお尻が痛くて痛くて（泣）。絶対タクシーがいいですよ！
ちなみに入場料は５ドルです。

ラピュタっぽい雰囲気出てますね。

あっ、失礼。自分の写真ブッコんじゃいました。

外国人観光客もいっぱい。

木が石を突き破っています。自然の力の凄いこと。

ヘビは神様の使い。どこの遺跡・寺院にも必ずあります。特に右側のヘビは損傷が殆ど無く、とっても珍しいそうです。

帰りの途中のレストランで遅めの昼食です。とても雰囲気の良い店でした。ここも外人でいっぱい。あっ、私も外人だった（笑)。

カンボジア満喫中！

最高の夕陽です。往復５時間約１２０km の旅の疲れも忘れさせてくれます。

宿に戻ったら、かわいいお友達が来てました。でも照れ屋さんなので、すぐどっかに行っちゃいました。

○８月１日（水）今日は今回の旅の一番の目的でもある孤児院訪問です。生徒を連れてきて是非交流させたいと思ってのご挨拶です。

Bridges NPO　の皆さんです。この日は上級生がいなくて小学生のみなさんが迎えてくれました。みんな最初はとてもシャイでした。

一人を撮ろうと思ったら後ろを向かれちゃいました。

ちょっとわかりづらいけど、狭めなグラウンドです。

ここで勉強しています。この日はボランティアによる英語の勉強をしていました。

子どもたちが世話をしているニワトリ小屋と他の家畜のエサにする植物です。

帰りは門まで見送りに来てくれました。嬉しいです。

２カ所目の Konkasekor NPO 孤児院です。１カ所目よりずっと広いです。

遊具があるにはあるんですが・・・。ちょっとさびしいですね。

左端の方が校長先生です。最初は「日本人が何しに来た？」みたいな顔をしてましたが、日本の生徒を連れてきて少しでいいから交流させたい、お互いの国の子どもにもっと世界を知らせたいという目的を言うと、とてもフレンドリーに「ＯＫ」してくれました。

　ところで２列目右から３番目の黒いＴシャツを着た女の子は、クメール語、英語、フランス語、日本語の４か国語ができるんです。すごいと思いません？環境がどんなでもやる気があれば何でもできるんだと感動しました。日本の生徒に会えるのを本当に楽しみにしていると言ってくれましたよ。

３カ所目は世界遺産アンコール・トムの敷地内にあるお坊様が管理する孤児院 Orphans support for Arts Cultures NPO です。世界遺産の中なのでここに行くには許可が必要でした。

お坊さんですが、手にはスマホ。別にいいんだけど何か不思議な感じがしました。

トイレです。

学習所。

来てくれたお礼にと、わざわざ演奏や踊りで私たち訪問者をもてなしてくれました。普段から練習しているそうです。とても素敵でした。

ちいさな子たちは、お兄さんお姉さんの演奏・踊りを食い入るように観てました。いつか自分たちにもできるんだ、絶対やってやる！そんな瞳をしてました。

３つの孤児院を訪問して感じたのは、どこの子どもたちも「明るい、やさしい」ということでした。みんなそれぞれ悩みや苦労はあると思うけど、全員でカバーしあう、そして未来を信じている、そんな子供たちの姿に感動しました。
ぜひ日本の本校の生徒を連れて行きたいと強く思いました。行けば絶対忘れられない良い体験になりますよ！